

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

施設名	岡山県南部健康づくりセンター
------------	----------------

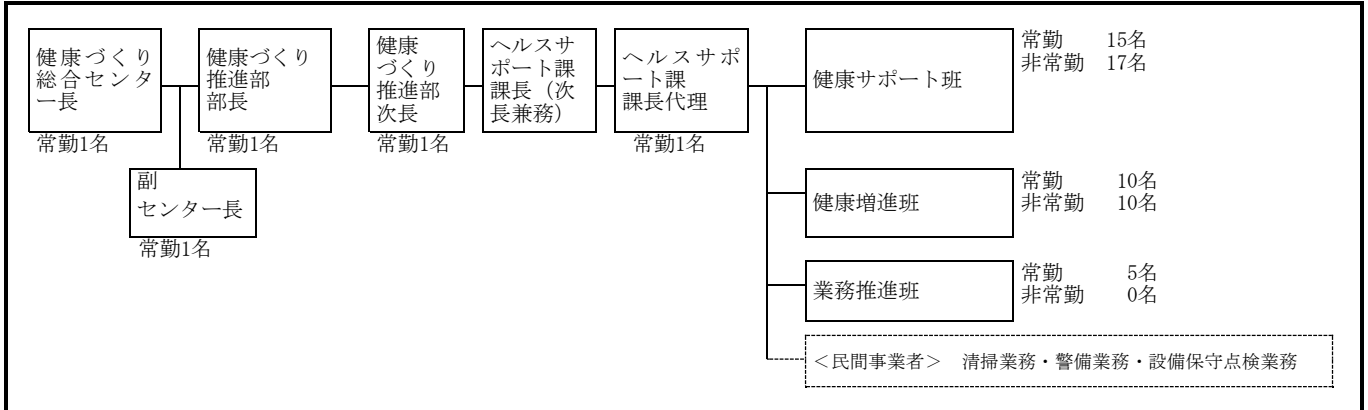
【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人 岡山県健康づくり財団	代表者	理事長 松山 正春
所在地	岡山県岡山市北区平田408-1		

【指定管理の概要】

指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県健康づくりセンター条例第2条に規定する業務の実施に関する事。 ・センターの施設及び設備の利用等の許可に関する事。 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する事。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合計
許可件数	3年度	535	8,094	1,808	919	11,081	22,437
	2年度	649	8,719	82	721	10,979	21,150
	増減	△114	△625	1,726	198	102	1,287

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設の維持管理業務	・建物保守管理業務 ・設備保守管理業務 ・施設清掃業務 ・植栽管理業務 ・警備業務
施設等利用許可業務	・許可件数：22,437件 [内訳] ヘルスチェック (535件) 施設自由利用 (8,094件) 施設貸出 (1,808件) その他健康増進活動 (919件) 人間ドック (9,760件) 婦人科検診等 (102件) 機器開放 (1,219件)
自主企画事業	・5歳から小学生を対象として定期的にかけてこ教室を67回開催。 ・難病相談・支援センターの患者交流会に管理栄養士、運動指導員を派遣して講演を2回実施。

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合計
収入額	312,750	38,344,700	14,578,670	2,516,625	308,228,943	363,981,688
利用件数	535	55,320	1,808	919	11,081	69,663
減免額	2,341,400	2,486,520	1,605,450	0	-	6,433,370
減免理由	障害者利用等					

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		3年度	対前年度増減額	2年度	備考
収入額 A		478,935,318	△611,354	479,546,672	3年度収入額 その他の主なもの ・岡山県大規模集 客施設協力金 5,618,000円 ・積立金取崩収入 3,904,560円
内 訳	指定管理料	104,469,200	△19,114,800	123,584,000	
	利用料金収入	363,981,688	13,750,380	350,231,308	
	事業収入	541,870	356,066	185,804	
	その他	9,942,560	4,397,000	5,545,560	
支出額 B		478,935,318	△611,354	479,546,672	3年度支出額 その他の主なもの ・税金 42,667,109円
内 訳	人件費	224,275,995	△10,943,500	235,219,495	
	管理運営費	94,314,047	11,649,835	82,664,212	
	事業費	79,800,747	△4,552,956	84,353,703	
	その他	80,544,529	3,235,267	77,309,262	
収支額 A-B		0	0	0	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		104,469,200	△19,114,800	123,584,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目	区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B 協定及び事業計画に沿った適切な管理が行われていた。
	②法令等の遵守 状況	B 法令等について遵守されていた。
	③安全性の確保	B 新型コロナウイルス感染症に関し、利用者の安全性を確保する対策を行ったほか、危機管理についての研修を行うなど利用者の安全性を確保した管理が行われていた。
	④財産の適切な 管理	B 適切な財産管理が行われていた。
導入 効果	①利用状況	C 新型コロナウイルス感染症の影響により、健康増進施設の利用件数は前年度より大幅に減少したが、人間ドックは閉館日の開館等により受診者数が増加した。また、県営ワクチン接種会場として貸出したことにより、施設貸出件数は前年度より大幅に増加した。 【利用件数】 R3：69,663件 ← R2：79,682件
	②収支状況	B 収入は、利用料金収入等が増加したものの、指定管理料の減額により、前年度より微減となった。支出は、運営費の増加、人件費等の減少により、前年度より微減となった。収支額は、前年度同額となった。
	③サービス向上	A 利用者入館時の感染予防対策のほか、シャワー室の改装等、利用環境の向上を行った。新型コロナウイルス感染症等により人間ドックを受診できなかった方のため臨時開館を行い受診者の受け入れを行った。
管理運営業務全般	B	概ね適切に管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上の取組もなされた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。